

(表紙)

# 都市防災事業計画(当初)

香川県小豆島町

令和2年1月

上段:変更前[当初、第△回変更](黒字)  
下段:変更後[第○回変更](赤字)

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

＜小豆島町の現状＞

(位置・地形)

小豆島町は、瀬戸内海国立公園に浮かぶ小豆島の中央から東に位置し、日本三大渓谷美に数えられる寒霞渓をはじめ、日本におけるオリーブ発祥の地として、また、壺井栄の小説「二十四の瞳」の舞台として全国的に知られる、面積95.59キロ平方メートルの町である。

豊かな自然を擁する寒霞渓は小豆島の重要な観光資源である一方、小豆島の多くの面積を急峻な山地が占めており、少ない平野部に人口が密集する状況にある。

(課題)

小豆島が瀬戸内海の海上交通の要衝であったことから、海岸部に近接して家屋が集中していること、海岸線がリアス式海岸を特徴としていることなどから、これまでも幾度となく台風被害、高潮被害にさらされており、また、今後30年以内での発生確率が70%から80%程度とされている南海トラフを震源とする巨大地震においても、小豆島町では震度6強、最大津波高は3.7mと予測されており、地形上、甚大な被害が発生するものと想定されている。

＜池田地区の現状＞

(位置・地形)

池田地区は、本町の西側に位置し、古くから農業の盛んな土地柄であるため、多くの農地を有する地区である。池田湾に注ぐ池田大川の下流に形成された沖積平地（池田平地）が主な居住地区であり、人口密度の高い状況にある。

(課題)

島内唯一の災害拠点病院である「小豆島中央病院」が存する地区である一方、人口密度の高い状況下にある中で、地区内の指定避難所は2箇所しかない。1箇所は池田小学校体育館、もう1箇所はイマージュセンターが指定されているが、後者においては、2階多目的ホールが吊り天井式となっているため、南海トラフ地震など巨大地震の揺れに伴い天井落下のおそれがある。

【整備方針】

＜小豆島町の方針＞

小豆島町では、昭和49年及び昭和51年に台風を原因とする集中豪雨により発生した大規模な土石流災害により、多くの財産と人命を失った歴史を教訓に、住民の自主的な防災訓練が行われるなど、従来から防災に対する住民意識が高い状況にある。

したがって、本町の防災対策は、「自助」、「共助」を基本とした防災体制を整備する一方、防災情報の伝達強化のための防災行政無線、高潮・津波対策としての護岸整備など、ハード面及びソフト面における「公助」を組み合わせ、効果的な基盤整備に努めてきたところである。

しかし、被災後に避難生活を過ごすことになる指定避難所に目を向けてみれば、耐震性の不安や物資や備品を備蓄しておく倉庫がないなど、実際に避難所として使用する際の機能が大きく不足しており、避難者の収容がままならない状態に陥る可能性があるため、施設の耐震化や備蓄倉庫の整備を行い、避難者の安全・安心の確保を図ろうとするものである。

＜池田地区の方針＞

池田地区の指定避難所における避難者収容人数の確保、及び避難者の安全・安心のために、イマージュセンター2階多目的ホールの吊り天井の耐震化など機能強化を図る。

## 計画事業一覧

都道府県名	香川県	市町村名	小豆島町	計画期間	令和2年度 ~ 令和2年度
担当部局	総務部 総務課 行政防災係	担当者	(正)谷口卓也 (副) (副)	連絡先	TEL:0879-82-7001 FAX:0879-82-7023 e-mail:olive0416@town.shodoshima.lg.jp

## 【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業における事業機関		国費率	交付対象事業費(予定)額		
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
災害危険度判定調査						1/3			
地区公共 施設等整備	事業計画					1/2			
	都市施設 (公園・緑地)					1/2 用地1/3			
	地区公共					1/2 用地1/3			
	緊急地区避難施設 (直接)	小豆島町	池田地区 (指定避難所の耐震化 1箇所)	105.9ha	R2	R2	1/2 用地1/3	45.8	22.9
	緊急地区避難施設 (間接)						補助1/2 全体1/3		
都市防災 不燃化促進	不燃化 促進調査						1/3		
	不燃化 促進						1/2		
木造老朽建築物除却事業							1/3		
復興まちづくり 総合支援事業	復興まちづくり 計画策定支援						1/2		
	復興に向けた公共 施設等整備(避難)						1/2		
	復興に向けた公共 施設等整備(活力)						通常1/3 景観*1/2		
	復興まちづくり 施設整備助成						1/3		
合計							45.8	22.9	

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式3) 関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名		事業規模 (面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
						開始年度	終了年度		
街路事業									
都市公園事業									
市街地再開発事業									
土地区画整理事業									
その他(単独事業等)									

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

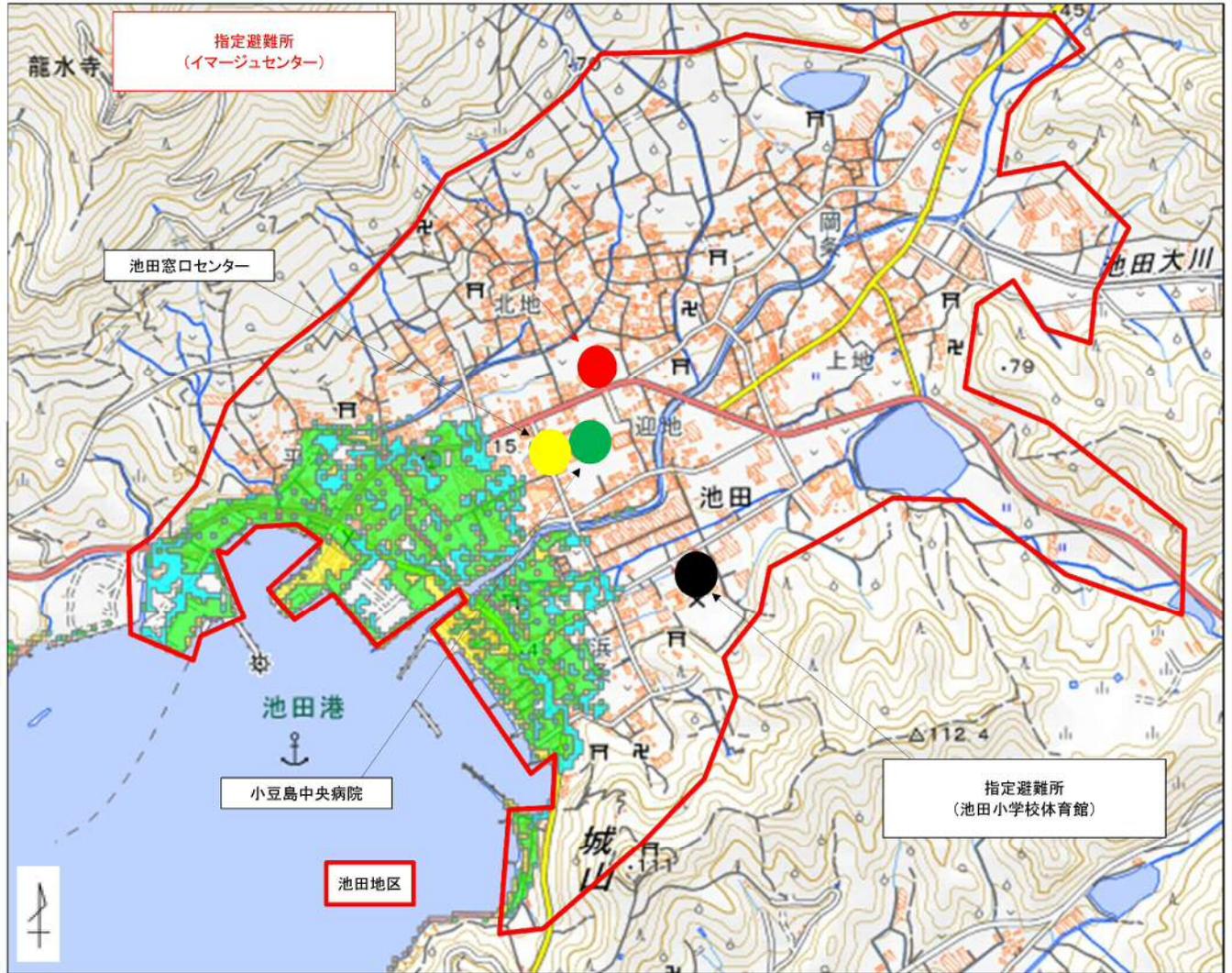
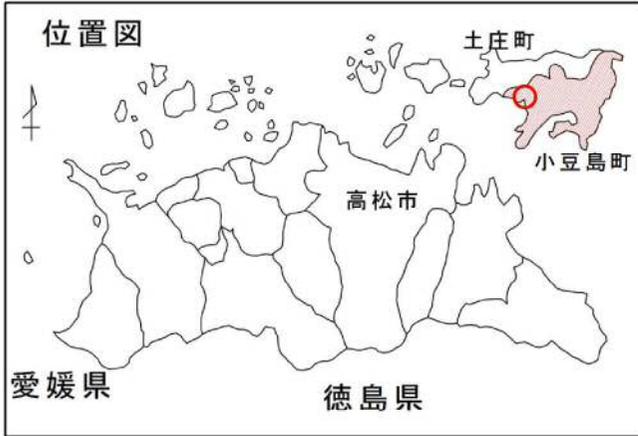
(様式4)年度別事業計画1【参考】

段:当初(変更前)、下段:変更後】【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]							計
						平成30年度以前	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降	
災害危険度判定調査					1/3								
住民等まちづくり活動支援					1/3								
地区公共施設等整備	事業計画				1/2								
	都市施設(公園・緑地)				1/2 用地1/3								
	地区公共				1/2 用地1/3								
	緊急地区避難施設(直接)	小豆島町	池田地区	指定避難所の耐震化 1箇所	×	1/2 用地1/3		22.9					22.9
	緊急地区避難施設(間接)					補助1/2 全体1/3							
都市防災 不燃化促進	不燃化促進調査					1/3							
	不燃化促進					1/2							
木造老朽建築物除却事業						1/3							
復興 まちづくり 総合支援事業	復興まちづくり計画策定支援					1/2							
	復興に向けた公共施設等整備(防災)					1/2							
	復興に向けた公共施設等整備(防災)					1/2 (景観地区等1/3)							
	復興に向けた公共施設等整備(防災)					1/3							
合計								22.9					22.9



施設名	緊急地区避難施設整備(イマージュセンター)	面積	105.9 ha	区域	池田地区(香川県小豆島町)
-----	-----------------------	----	----------	----	---------------



(出典:小豆島町津波ハザードマップ)

施設名	緊急地区避難施設整備(イマージュセンター)	面積	105.9 ha	区域	池田地区(香川県小豆島町)
-----	-----------------------	----	----------	----	---------------

【緊急地区避難施設整備(指定避難所の耐震化)】

<目的>

本町池田地区においては、災害対策基本法に基づく指定避難所を2箇所(池田小学校体育館・イマージュセンター)指定している。そのうちイマージュセンターについては、2階多目的ホールが吊り天井式となっているため、南海トラフ地震など巨大地震による吊り天井の落下により、避難者が収容不能となるおそれがあるため、当該施設の吊り天井の耐震化を行う。

緊急地区避難施設整備(イマージュセンター)  
 ・南海トラフ地震(最大クラス)による最大震度  
 震度6弱  
 ・2階多目的ホール面積 350㎡  
 ・2階多目的ホール収容可能人数 106人  
 ・算定根拠 350㎡ ÷ 3.3㎡/人



(出典:小豆島町津波ハザードマップ)

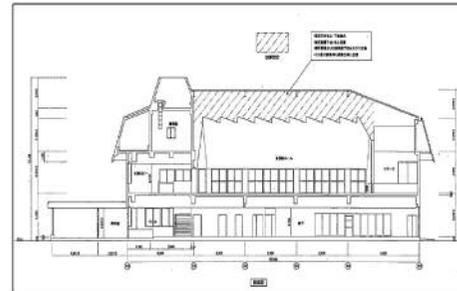
<施設概要>

平時は、地域防災力向上のため地区住民の避難訓練に活用されている。災害発生時には地区住民避難者106人の収容場所として活用する。

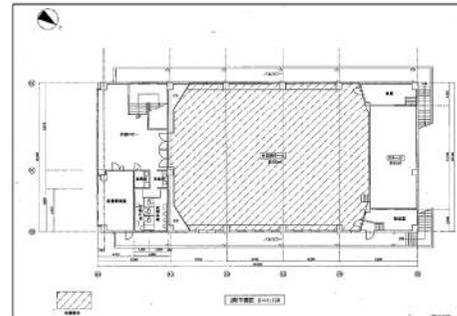
【施設外観】



【2階多目的ホール天井の状況】



【施設断面図】



【2階平面図】